

ぞうしがやプレーパーク通信 2021.7.25

◇日時：2021年7月25（日）午前10時30分～午後3時

◇天気：晴れ

◇場所：豊島区立雑司が谷公園（芝生広場）

◇参加：70人程度

◇スタッフ：井上、野中、浜野、水越、佐分、（午前のみ）清永、

◇お手伝い：東京下町紙芝居 稲葉さん他3名、コマ遊び 坂田、

◇来訪者：（豊島区社会福祉協議会）三枝さん、熊谷さん、（回遊美術館事務局）横田さん、（映画「あそびのレンズ」プロデューサー）植田さん、（荒川冒険遊び場）関川さん

◇企画：

「池袋モンパルナス回遊美術館」アートワークショップ「あそびからだをつくってデコろう！」

「水遊び」：ペットボトル水鉄砲、スプリンクラー

◇簡単報告：

◆猛暑が予想されたため、タープ、テント2張で日陰を確保し、経口補水液や塩飴、保冷剤など、熱中症対策を万全にして開催した。公園の噴水（じゃぶじゃぶ池）は中止のため、芝生用スプリンクラーや、水鉄砲で涼が取れるよう工夫した。また、紙芝居、コマ遊び、糸掛け曼荼羅は、通常芝生広場で開催しているが、今回は場所を変更し、公園南側入り口近くの木陰で実施した。

◆「あそびからだをつくってデコろう！」：子どもたちが好きな遊びのポーズを体の形を段ボールに写し取り、切り取って、思い思いに着色や飾り付けをした。暑さを考慮し、体の形どりは、比較的涼しいテントの下で、彩色や飾り付けはタープの下で行った。おにごっこや、サッカー、ダンスなど、色々なポーズをとった。中には、手や足の裏に絵の具を塗って、彩色する子もあり、保護者も「家ではなかなかできないので、ここでやってほしい」と、見守っていた。細かくちぎった色紙を貼ったり、大胆に絵の具で塗ったり、マジックで書いたりそれぞれ工夫を凝らした。出来上がった作品は、子どもたちと一緒に丘の上テラス内に飾り付けた。

◆たらいにペットボトルの水鉄砲を用意したり、スプリンクラーをだしたりして水遊びした。スプリンクラーは意外と水勢が強く、大人も童心にかえって楽しんでた。水着を持参して張り切っている子どももいた。スプリンクラーは密をさけながら遊ぶことができよかった。また、密を避けるために、当初一か所に出していた水鉄砲用のたらいを、途中からは距離を離して配置した。

◆水遊び日和の暑さの中、糸掛けしたい子なんているだろうか？と思っていたが、意外と参加者がいた。保護者が、「ねえ、これ、意外と奥が深そうだよ、糸買ってあげるから、夏休み家でやりなよ」と子どもに話すなど、好評で、うれしかった。

◇その他：

◆10月から池袋ロサ会館で公開されるプレーパークをテーマとした映画「遊びのレンズ」のプロデューサーの植田さんがお越しになった。上映映画館やプロモーションの一環で、池袋に近いプレーパークとして、ぞうしがやプレーパークを紹介くださるとのこと。活動の様子の撮影をされた。映画公開日直近9月25日のプレーパークでは、映画にちなんだ活動を検討することとした。

◇次回（8月22日）に向けて：

◆行事保険申し込み（8月分）、水鉄砲用ペットボトル収集